

アジア・リートオープン (毎月決算型)

運用報告書(全体版)

第105期(決算日2023年9月22日) 第106期(決算日2023年10月23日) 第107期(決算日2023年11月22日)
第108期(決算日2023年12月22日) 第109期(決算日2024年1月22日) 第110期(決算日2024年2月22日)

作成対象期間(2023年8月23日～2024年2月22日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
なお、当ファンドは、運用開始以来永らくご愛顧いただきましたが、2024年8月22日に信託期間満了となります。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/不動産投信	
信託期間	2014年9月29日から2024年8月22日までです。	
運用方針	アジアREITマザーファンド(以下「マザーファンド」といいます。)受益証券への投資を通じて、主として日本を除くアジア諸国・地域の金融商品取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)されているREIT(不動産投資信託証券)に投資し、高水準の配当収益の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行なうことを基本とします。	
主な投資対象	アジア・リートオープン(毎月決算型)	マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	日本を除くアジア諸国・地域の金融商品取引所に上場されているREITを主要投資対象とします。なお、株式等にも投資する場合があります。
主な投資制限	アジア・リートオープン(毎月決算型)	外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	投資信託証券(上場投資信託証券を除きます。)への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として配当等収益等を中心に分配を行なうことを基本とします。ただし、基準価額水準等によっては売買益等が中心となる場合があります。なお、市況動向や基準価額水準等によっては、分配金額が大きく変動する場合があります。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。	

野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号



サポートダイヤル 0120-753104
(受付時間) 営業日の午前9時～午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近30期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	基準価額			参考指数	投資信託 組入比率	純資産額	
		税金 分	込 配	み 期 騰 落				中 率
	円		円	騰 落	騰 落	%	百万円	
81期(2021年9月22日)	14,008		20	△ 3.8	168.65	△ 4.3	98.8	341
82期(2021年10月22日)	14,901		20	6.5	179.79	6.6	99.7	340
83期(2021年11月22日)	14,985		20	0.7	182.30	1.4	99.1	334
84期(2021年12月22日)	14,283		20	△ 4.6	174.71	△ 4.2	98.4	319
85期(2022年1月24日)	14,439		20	1.2	178.05	1.9	98.1	327
86期(2022年2月22日)	14,480		20	0.4	178.15	0.1	96.8	331
87期(2022年3月22日)	15,331		20	6.0	188.09	5.6	97.6	347
88期(2022年4月22日)	16,691		20	9.0	203.77	8.3	99.3	363
89期(2022年5月23日)	16,079		20	△ 3.5	195.87	△ 3.9	98.7	309
90期(2022年6月22日)	16,565		20	3.1	202.06	3.2	97.4	315
91期(2022年7月22日)	16,632		20	0.5	201.85	△ 0.1	96.2	321
92期(2022年8月22日)	17,068		20	2.7	207.31	2.7	98.6	327
93期(2022年9月22日)	17,077		20	0.2	207.02	△ 0.1	97.9	330
94期(2022年10月24日)	14,610		20	△14.3	175.34	△15.3	95.8	291
95期(2022年11月22日)	15,665		20	7.4	189.27	7.9	93.4	322
96期(2022年12月22日)	14,782		20	△ 5.5	180.17	△ 4.8	96.1	309
97期(2023年1月23日)	15,636		20	5.9	193.10	7.2	94.8	333
98期(2023年2月22日)	15,501		20	△ 0.7	190.73	△ 1.2	93.1	332
99期(2023年3月22日)	14,858		20	△ 4.0	183.41	△ 3.8	90.3	326
100期(2023年4月24日)	15,453		20	4.1	190.73	4.0	93.1	342
101期(2023年5月22日)	15,350		20	△ 0.5	189.87	△ 0.5	92.8	340
102期(2023年6月22日)	15,642		20	2.0	193.34	1.8	92.9	344
103期(2023年7月24日)	15,646		20	0.2	193.79	0.2	89.8	357
104期(2023年8月22日)	15,007		20	△ 4.0	183.34	△ 5.4	91.2	343
105期(2023年9月22日)	14,935		20	△ 0.3	182.98	△ 0.2	93.0	344
106期(2023年10月23日)	13,974		20	△ 6.3	170.09	△ 7.0	92.6	322
107期(2023年11月22日)	15,479		20	10.9	190.13	11.8	95.2	346
108期(2023年12月22日)	15,680		20	1.4	193.19	1.6	98.3	330
109期(2024年1月22日)	15,645		20	△ 0.1	192.79	△ 0.2	99.6	307
110期(2024年2月22日)	15,419		20	△ 1.3	191.37	△ 0.7	96.4	288

* 基準価額の騰落率は分配金込み。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

* 参考指数は「S&PアジアパシフィックREIT指数（除くオーストラリア・ニュージーランド・日本）」の構成国から、S&Pの各国REIT指数と月初における各指数時価総額を用いて、当社が独自に合成し円換算したものです。
算出にあたっては、基準価額への反映を考慮して、前営業日の指数値を営業日当日の為替レート（対顧客電信売買相場仲値）で円換算し、前営業日の時価総額を用いて合成しております。なお、設定時を100としています。

* 「S&PアジアパシフィックREIT指数（除くオーストラリア・ニュージーランド・日本）」及び各国REIT指数はスタンダード&ブアーズファイナンシャル サービスズ エル エル シーの所有する登録商標であり、野村アセットマネジメントに対して利用許諾が与えられています。スタンダード&ブアーズは本商品を推奨・支持・販売・促進等するものではなく、また本商品に対する投資適格性等に関し
いかなる意思表示等を行なうものではありません。

(出所) : スタンダード・アンド・ブアーズ、ブルームバーグ

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

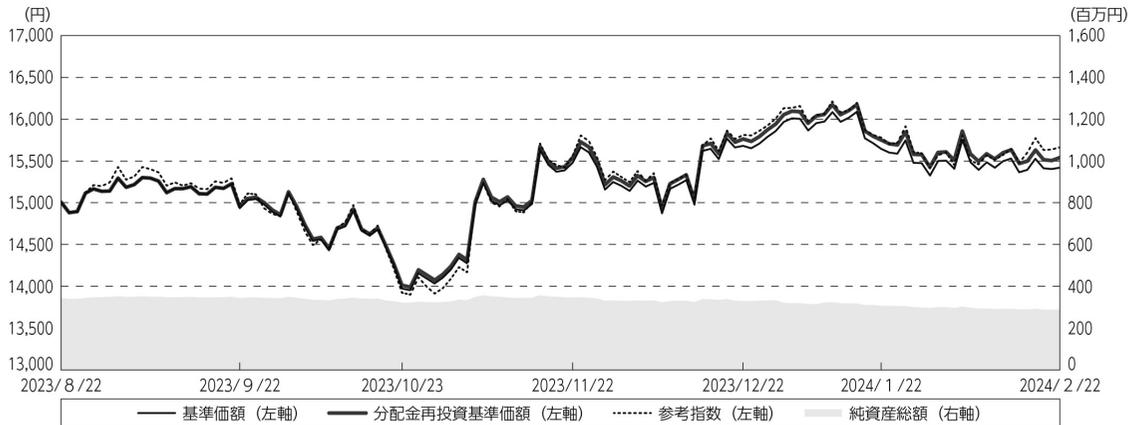
決算期	年 月 日	基準 価 額		参 考 指 数	投 資 信 託 証 券 組 入 比 率	
			騰 落 率			
第105期	(期 首) 2023年8月22日	円 15,007	% —	183.34	% —	91.2
	8月末	15,294	1.9	188.49	2.8	92.7
	(期 末) 2023年9月22日	14,955	△ 0.3	182.98	△ 0.2	93.0
第106期	(期 首) 2023年9月22日	14,935	—	182.98	—	93.0
	9月末	14,835	△ 0.7	181.33	△ 0.9	92.4
	(期 末) 2023年10月23日	13,994	△ 6.3	170.09	△ 7.0	92.6
第107期	(期 首) 2023年10月23日	13,974	—	170.09	—	92.6
	10月末	14,200	1.6	172.16	1.2	92.7
	(期 末) 2023年11月22日	15,499	10.9	190.13	11.8	95.2
第108期	(期 首) 2023年11月22日	15,479	—	190.13	—	95.2
	11月末	15,247	△ 1.5	187.81	△ 1.2	97.6
	(期 末) 2023年12月22日	15,700	1.4	193.19	1.6	98.3
第109期	(期 首) 2023年12月22日	15,680	—	193.19	—	98.3
	12月末	15,967	1.8	197.07	2.0	103.1
	(期 末) 2024年1月22日	15,665	△ 0.1	192.79	△ 0.2	99.6
第110期	(期 首) 2024年1月22日	15,645	—	192.79	—	99.6
	1月末	15,499	△ 0.9	190.20	△ 1.3	99.9
	(期 末) 2024年2月22日	15,439	△ 1.3	191.37	△ 0.7	96.4

* 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

◎運用経過

○作成期間中の基準価額等の推移



第105期首：15,007円

第110期末：15,419円（既払分配金（税込み）：120円）

騰落率：3.6%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首（2023年8月22日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、「S&PアジアパシフィックREIT指数（除くオーストラリア・ニュージーランド・日本）」の構成国から、S&Pの各国REIT指数と月初における各指数時価総額を用いて、当社が独自に合成し円換算したものです。参考指数は、作成期首（2023年8月22日）の値が基準価額と同一となるように計算しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、第105期期首15,007円から第110期期末15,419円（分配後）となりました。この間に120円の分配金をお支払いしましたので、分配金を考慮した値上がり額は532円となりました。

(基準価額の主な上昇要因)

- ・米長期金利が上昇した局面において日米金利差の拡大を意識した円売りの動きがあったことなどを背景に、シンガポールドル、香港ドルがともに対円で上昇（円安）したこと
- ・FOMC（米連邦公開市場委員会）の結果を受けて米利下げ観測が強まり、国内外の金利が低下した局面において、資金調達コストの減少による業績改善期待が広がったこと

(基準価額の主な下落要因)

- ・中国経済の先行き懸念が投資家心理の重石となったこと
- ・米金融引き締め長期化への警戒感により米金利が上昇した局面において、利回り面での優位性が低下するとの見方からREITを売る動きがあったこと

○投資環境

当作成期のシンガポールと香港のREIT市場は、中国当局による資本市場活性化策を受けて香港での政策期待が高まったことから、投資家心理が上向き、上昇して始まりましたが、中国経済の先行き懸念が投資家心理の重石となったことや、米国の金融引き締めが長期化することへの警戒感から米金利が上昇し、利回り面での優位性が低下するとの見方からREITを売る動きがあったこと、中国の不動産業界の経営問題への警戒感が広がったことなどを背景に、10月末にかけて下落基調の動きとなりました。11月に入ると、米金融引き締めの長期化への警戒感が和らぎ米金利が低下したことで、利回り面での優位性が高まるとの見方からREITを買う動きがあったことや、中国政府による政策期待を背景に持ち直しの動きが見られました。12月にもFOMCの結果を受けて米利下げ観測が強まり国内外の金利が低下したことで、資金調達コストの減少による業績改善期待などを背景に大きく上昇する場面が見られましたが、1月以降はFRB（米連邦準備制度理事会）が早期に利下げを行なうことへの期待が後退し国内外の金利が上昇したことを受け、REITの業績悪化に対する懸念が広がったことや、中国経済の先行き不透明感が投資家心理の重石となり、軟調な推移となりました。当作成期を通じては、シンガポールREIT市場、香港REIT市場ともに、小幅に上昇しました。

○当ファンドのポートフォリオ

[アジア・リートオープン（毎月決算型）]

主要投資対象である [アジアREITマザーファンド] 受益証券を高位に組み入れ、第110期末におけるREITの実質組入比率は96.4%としました。

[アジアREITマザーファンド]

収益の成長性に着目し、ホテルや学生向け居住用施設に投資する「キャピタランド アスコット・トラスト」や、商業施設などに投資する「フレイザーズ センターポイント・トラスト」などを、市場の時価総額比率より高めの組入比率としました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。
コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数の4.4%の上昇に対し、基準価額の騰落率※は3.6%の上昇となりました。
※基準価額の騰落率は、分配金（税込み）を再投資して算出しております。

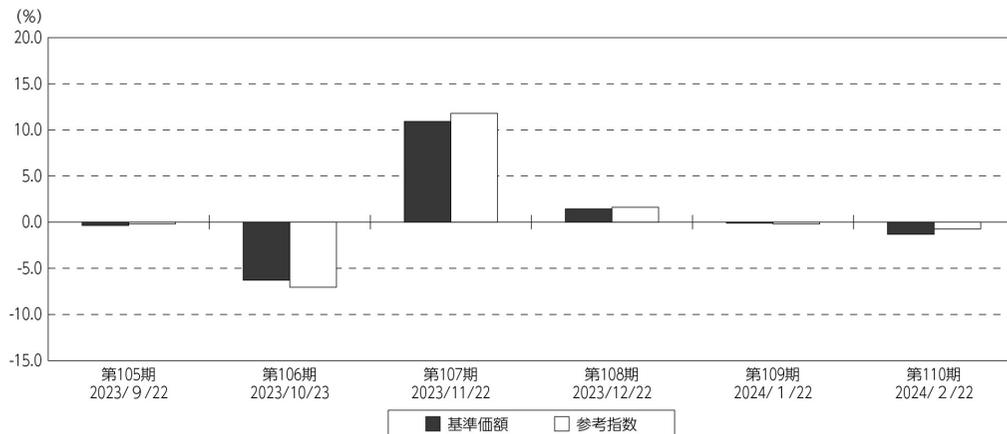
（主なプラス要因）

- ・個別銘柄比率においてフレイザーズ センターポイント・トラストやダイワハウス ロジスティクス・トラストなどを市場の時価総額比率よりも多めの組入比率としたこと

（主なマイナス要因）

- ・ファンドでは信託報酬等のコストが日々生じること
- ・個別銘柄比率においてARA US ホスピタリティ・トラストなどを市場の時価総額比率よりも多めの組入比率としたこと

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 参考指数は、「S&PアジアパシフィックREIT指数（除くオーストラリア・ニュージーランド・日本）」の構成国から、S&Pの各国REIT指数と月初における各指数時価総額を用いて、当社が独自に合成し円換算したものです。

◎分配金

収益分配金につきましては、配当等収益等を中心に、基準価額水準等を勘案し、1万口当たり第105期～第110期は各20円といたしました。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項 目	第105期	第106期	第107期	第108期	第109期	第110期
	2023年8月23日～ 2023年9月22日	2023年9月23日～ 2023年10月23日	2023年10月24日～ 2023年11月22日	2023年11月23日～ 2023年12月22日	2023年12月23日～ 2024年1月22日	2024年1月23日～ 2024年2月22日
当期分配金	20	20	20	20	20	20
（対基準価額比率）	0.134%	0.143%	0.129%	0.127%	0.128%	0.130%
当期の収益	—	—	20	1	—	20
当期の収益以外	20	20	—	19	20	—
翌期繰越分配対象額	8,476	8,457	8,611	8,595	8,580	8,735

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

◎今後の運用方針

[アジア・リートオープン（毎月決算型）]

主要投資対象である[アジアREITマザーファンド] 受益証券を高位に組み入れ、基準価額の向上に努めます。

[アジアREITマザーファンド]

当ファンドでは、日本を除くアジア諸国・地域の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）されているREITを主要投資対象とします。REITへの投資にあたっては、各銘柄の利回り水準、市況動向、流動性等を勘案しながら、収益性・成長性等の調査や割安分析等により投資銘柄を選別し、高水準の配当収益の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行なうことを基本とします。

(運用戦略)

米中対立や中東情勢、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻といった地政学的リスク、米金融政策の動向などへの懸念はありますが、香港、シンガポール共にアジアの経済拠点としての優位性を確立しており、不動産市況は底堅く推移することが期待されます。当面は、配当成長が見込まれる銘柄に着目しつつ、保有不動産の賃料水準や立地、新規の物件取得状況などを考慮し、銘柄選択を行なう予定です。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしく願いいたします。

○ 1 万口当たりの費用明細

（2023年8月23日～2024年2月22日）

項 目	第105期～第110期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 130	% 0.857	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(63)	(0.415)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(63)	(0.415)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(4)	(0.028)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	1	0.009	(b) 売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料÷作成期間の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 投 資 信 託 証 券 ）	(1)	(0.009)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	1	0.007	(c) 有価証券取引税＝作成期間の有価証券取引税÷作成期間の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 投 資 信 託 証 券 ）	(1)	(0.007)	
(d) そ の 他 費 用	8	0.050	(d) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(7)	(0.049)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	140	0.923	
作成期間の平均基準価額は、15,173円です。			

* 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

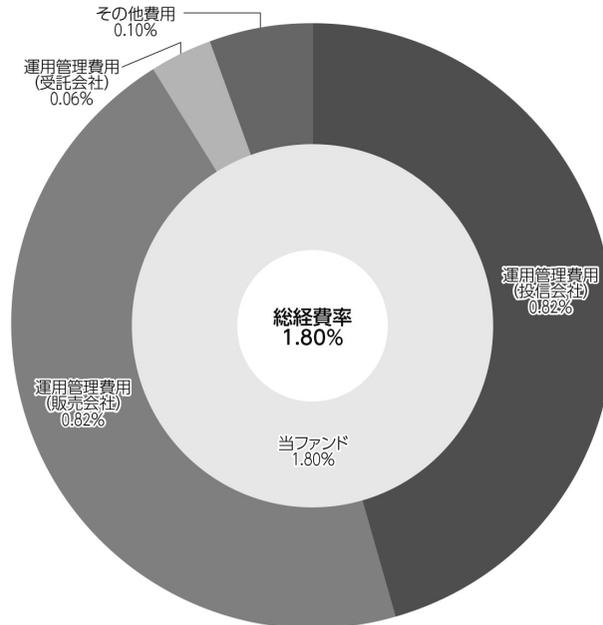
* 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.80%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 当ファンドのその他費用には、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用が含まれます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2023年8月23日～2024年2月22日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	第105期～第110期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
アジアREITマザーファンド	千口 7,239	千円 29,545	千口 23,891	千円 100,344

*単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2023年8月23日～2024年2月22日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2024年2月22日現在)

親投資信託残高

銘柄	第104期末	第110期末	
	口 数	口 数	評 価 額
アジアREITマザーファンド	千口 84,961	千口 68,308	千円 288,501

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2024年2月22日現在)

項 目	第110期末	
	評 価 額	比 率
アジアREITマザーファンド	千円 288,501	% 98.8
コール・ローン等、その他	3,361	1.2
投資信託財産総額	291,862	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*アジアREITマザーファンドにおいて、第110期末における外貨建純資産（282,783千円）の投資信託財産総額（288,802千円）に対する比率は97.9%です。

*外貨建資産は、第110期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=150.55円、1香港ドル=19.25円、1シンガポールドル=112.09円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第105期末	第106期末	第107期末	第108期末	第109期末	第110期末
	2023年9月22日現在	2023年10月23日現在	2023年11月22日現在	2023年12月22日現在	2024年1月22日現在	2024年2月22日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	345,890,045	327,607,890	355,505,768	340,992,673	313,002,795	291,862,582
コール・ローン等	1,024,964	528,440	1,530,683	871,464	1,967,893	3,061,117
アジアREITマザーファンド(評価額)	343,985,081	322,130,450	349,357,085	331,861,209	308,930,902	288,501,465
未収入金	880,000	4,949,000	4,618,000	8,260,000	2,104,000	300,000
(B) 負債	1,759,019	5,320,548	8,862,083	10,044,894	5,260,249	3,025,890
未払収益分配金	460,827	461,280	447,901	422,125	393,412	374,640
未払解約金	793,018	4,364,759	7,936,965	9,151,610	4,400,017	2,222,181
未払信託報酬	504,210	493,564	476,304	470,259	465,928	428,249
未払利息	1	—	1	—	—	—
その他未払費用	963	945	912	900	892	820
(C) 純資産総額(A－B)	344,131,026	322,287,342	346,643,685	330,947,779	307,742,546	288,836,692
元本	230,413,712	230,640,196	223,950,925	211,062,933	196,706,311	187,320,189
次期繰越損益金	113,717,314	91,647,146	122,692,760	119,884,846	111,036,235	101,516,503
(D) 受益権総口数	230,413,712口	230,640,196口	223,950,925口	211,062,933口	196,706,311口	187,320,189口
1万口当たり基準価額(C/D)	14,935円	13,974円	15,479円	15,680円	15,645円	15,419円

(注) 第105期首元本額は229,137,424円、第105～110期中追加設定元本額は33,758,854円、第105～110期中一部解約元本額は75,576,089円、1口当たり純資産額は、第105期1.4935円、第106期1.3974円、第107期1.5479円、第108期1.5680円、第109期1.5645円、第110期1.5419円です。

○損益の状況

項 目	第105期	第106期	第107期	第108期	第109期	第110期
	2023年8月23日～ 2023年9月22日	2023年9月23日～ 2023年10月23日	2023年10月24日～ 2023年11月22日	2023年11月23日～ 2023年12月22日	2023年12月23日～ 2024年1月22日	2024年1月23日～ 2024年2月22日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 49	△ 8	△ 8	△ 26	△ 34	—
支払利息	△ 49	△ 8	△ 8	△ 26	△ 34	—
(B) 有価証券売買損益	△ 845,114	△ 21,165,914	34,288,771	5,102,622	△ 123,976	△ 3,453,181
売買益	57,725	122,756	35,715,389	5,418,431	435,709	150,065
売買損	△ 902,839	△ 21,288,670	△ 1,426,618	△ 315,809	△ 559,685	△ 3,603,246
(C) 信託報酬等	△ 505,173	△ 494,509	△ 477,216	△ 471,159	△ 466,820	△ 429,069
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 1,350,336	△ 21,660,431	33,811,547	4,631,437	△ 590,830	△ 3,882,250
(E) 前期繰越損益金	2,228,128	430,710	△ 20,379,947	12,166,260	14,742,301	13,085,984
(F) 追加信託差損益金	113,300,349	113,338,147	109,709,061	103,509,274	97,278,176	92,687,409
(配当等相当額)	(151,152,404)	(152,355,002)	(149,202,874)	(141,174,785)	(133,073,318)	(126,883,744)
(売買損益相当額)	(△ 37,852,055)	(△ 39,016,855)	(△ 39,493,813)	(△ 37,665,511)	(△ 35,795,142)	(△ 34,196,335)
(G) 計(D+E+F)	114,178,141	92,108,426	123,140,661	120,306,971	111,429,647	101,891,143
(H) 収益分配金	△ 460,827	△ 461,280	△ 447,901	△ 422,125	△ 393,412	△ 374,640
次期繰越損益金(G+H)	113,717,314	91,647,146	122,692,760	119,884,846	111,036,235	101,516,503
追加信託差損益金	113,300,349	113,338,147	109,709,061	103,509,274	97,278,176	92,687,409
(配当等相当額)	(151,154,721)	(152,354,920)	(149,313,963)	(141,174,949)	(133,073,274)	(126,890,656)
(売買損益相当額)	(△ 37,854,372)	(△ 39,016,773)	(△ 39,604,902)	(△ 37,665,675)	(△ 35,795,098)	(△ 34,203,247)
分配準備積立金	44,145,633	42,699,453	43,538,686	40,243,772	35,704,573	36,742,972
繰越損益金	△ 43,728,668	△ 64,390,454	△ 30,554,987	△ 23,868,200	△ 21,946,514	△ 27,913,878

* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

* 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2023年8月23日～2024年2月22日)は以下の通りです。

項 目	第105期	第106期	第107期	第108期	第109期	第110期
	2023年8月23日～ 2023年9月22日	2023年9月23日～ 2023年10月23日	2023年10月24日～ 2023年11月22日	2023年11月23日～ 2023年12月22日	2023年12月23日～ 2024年1月22日	2024年1月23日～ 2024年2月22日
a. 配当等収益(経費控除後)	0円	0円	3,753,590円	21,154円	0円	3,230,786円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金繰戻後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	151,154,721円	152,354,920円	149,313,963円	141,174,949円	133,073,274円	126,890,656円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	44,606,460円	43,160,733円	40,232,997円	40,644,743円	36,097,985円	33,886,826円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	195,761,181円	195,515,653円	193,300,550円	181,840,846円	169,171,259円	164,008,268円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	8,496円	8,477円	8,631円	8,615円	8,600円	8,755円
g. 分配金	460,827円	461,280円	447,901円	422,125円	393,412円	374,640円
h. 分配金(1万口当たり)	20円	20円	20円	20円	20円	20円

○分配金のお知らせ

	第105期	第106期	第107期	第108期	第109期	第110期
1 万口当たり分配金（税込み）	20円	20円	20円	20円	20円	20円

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

該当事項はございません。

アジアREITマザーファンド

運用報告書

第13期（決算日2024年2月22日）

作成対象期間（2023年2月23日～2024年2月22日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	高水準の配当収益の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行なうことを基本とします。REIT（不動産投資信託証券）への投資にあたっては、各銘柄ごとの利回り水準、市況動向、流動性等を勘案しながら、収益性・成長性等の調査や割安分析等により投資銘柄を選別します。REITの組入比率は原則として高位を維持することを基本とします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主な投資対象	日本を除くアジア諸国・地域の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）されているREITを主要投資対象とします。なお、株式等にも投資する場合があります。
主な投資制限	投資信託証券（上場投資信託証券を除きます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号

<http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		参考指数	投資信託 組入比	純資産額
	期騰落	中率			
	円	%		%	百万円
9期(2020年2月25日)	36,606	9.3	345.48	92.4	618
10期(2021年2月22日)	34,583	△5.5	319.41	98.7	534
11期(2022年2月22日)	37,203	7.6	350.88	96.8	330
12期(2023年2月22日)	41,106	10.5	375.66	93.2	332
13期(2024年2月22日)	42,235	2.7	376.92	96.5	288

*参考指数は「S&PアジアパシフィックREIT指数(除くオーストラリア・ニュージーランド・日本)」の構成国から、S&Pの各国REIT指数と月初における各指数時価総額を用いて、当社が独自に合成し円換算したものです。

算出にあたっては、基準価額への反映を考慮して、前営業日の指数値を営業日当日の為替レート(対顧客電信売買相場仲値)で円換算し、前営業日の時価総額を用いて合成しております。なお、設定時を100としています。

*「S&PアジアパシフィックREIT指数(除くオーストラリア・ニュージーランド・日本)」及び各国REIT指数はスタンダード&プアーズファイナンシャル サービスーズ エル エル シーの所有する登録商標であり、野村アセットマネジメントに対して利用許諾が与えられています。スタンダード&プアーズは本商品を推奨・支持・販売・促進等するものではなく、また本商品に対する投資適格性等に関し
いかなる意思表示等を行なうものではありません。

(出所) : スタンダード・アンド・プアーズ、ブルームバーグ

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数	投資信託 組入比
	騰落	率		
(期首) 2023年2月22日	円	%		%
	41,106	—	375.66	93.2
2月末	41,308	0.5	376.28	92.4
3月末	40,221	△2.2	367.93	92.9
4月末	40,868	△0.6	373.48	92.8
5月末	40,737	△0.9	371.61	92.3
6月末	41,779	1.6	378.61	93.2
7月末	42,085	2.4	382.32	90.9
8月末	41,244	0.3	371.26	92.7
9月末	40,110	△2.4	357.15	92.3
10月末	38,509	△6.3	339.08	92.7
11月末	41,455	0.8	369.90	97.3
12月末	43,504	5.8	388.16	98.4
2024年1月末	42,352	3.0	374.61	99.8
(期末) 2024年2月22日	円	%		%
	42,235	2.7	376.92	96.5

*騰落率は期首比です。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



(注) 参考指数は、「S&PアジアパシフィックREIT指数 (除くオーストラリア・ニュージーランド・日本)」の構成国から、S&Pの各国REIT指数と月初における各指数時価総額を用いて、当社が独自に合成し円換算したものです。作成期首の値が基準価額と同一となるように計算しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首41,106円から期末42,235円に1,129円の値上がりとなりました。

(基準価額の主な上昇要因)

- ・米長期金利が上昇した局面において日米金利差の拡大を意識した円売りの動きがあったことなどを背景に、シンガポールドル、香港ドルがともに対円で上昇(円安)したこと
- ・中国当局による経済対策への期待が広がり投資家がリスクを取る姿勢を強める局面があったこと

(基準価額の主な下落要因)

- ・中国の経済統計が軟調な結果となり経済の先行きに対する警戒感が広がったことや、中国の大手不動産会社の経営不安が伝わったこと
- ・米金融引き締め長期化への警戒感により米金利が上昇した局面において、利回り面での優位性が低下するとの見方からREITを売る動きがあったこと

○投資環境

当作成期前半のシンガポールと香港のREIT市場は、米国の銀行破綻を受けた投資家心理の悪化などを背景に、軟調に始まりました。その後は、欧米の金融システムをめぐる懸念が後退したことや、米国の物価指数の伸び率が鈍化したことを受けて、FRB（米連邦準備制度理事会）の利上げが長引くことへの懸念が後退したことなどを背景に、底堅く推移しました。5月以降は、中国の経済統計が市場予想を下回り景気回復の鈍さが意識されたことや、米債務上限問題への警戒感などが投資家心理の重石となり、弱含みの展開となりました。シンガポールのREIT市場は世界の株式市場が上昇した局面などでは堅調な値動きが見られるなど底堅く推移した一方、香港のREIT市場は人民元安を受けた中国からの資金流出への警戒感や、中国経済の先行き不安などを背景に、下げ幅を拡大する展開となりました。7月には、中国当局による経済対策への期待などを手掛かりに持ち直す場面も見られたものの、その後は中国の経済統計が軟調な結果となり経済の先行きに対する警戒感が広がったことや、中国の大手不動産会社の経営不安が伝わったこと、米金利の上昇を受けた投資家心理の悪化などを背景に、弱含みの展開となりました。

当作成期後半は、中国当局による資本市場活性化策を受けて香港での政策期待が高まったことから、投資家心理が上向き、持ち直す場面が見られたものの、中国経済の先行き懸念が投資家心理の重石となったことや、米国の金融引き締めが長期化することへの警戒感から米金利が上昇し、利回り面での優位性が低下するとの見方からREITを売る動きがあったこと、中国の不動産業界の経営問題への警戒感が広がったことなどを背景に、10月末にかけて下げ幅を拡大する動きとなりました。11月に入ると、米金融引き締めの長期化への警戒感が和らぎ米金利が低下したことで、利回り面での優位性が高まるとの見方からREITを買う動きがあったことや、中国政府による政策期待を背景に持ち直しの動きが見られました。12月にもFOMC（米連邦公開市場委員会）の結果を受けて米利下げ観測が強まり国内外の金利が低下したことで、資金調達コストの減少による業績改善期待などを背景に一段と持ち直す場面が見られましたが、1月以降はFRBが早期に利下げを行なうことへの期待が後退し国内外の金利が上昇したことを受け、REITの業績悪化に対する懸念が広がったことや、中国経済の先行き不透明感が投資家心理の重石となり、軟調な推移となりました。

当作成期を通じては、シンガポールREIT市場、香港REIT市場ともに、下落しました。

○当ファンドのポートフォリオ

<REIT組入比率>

REITの組入比率は、原則として高位を維持し、期末には96.5%としました。

<主な銘柄>

収益の成長性に着目し、ホテルや学生向け居住用施設に投資する「キャピタランド アスコット・トラスト」や、商業施設などに投資する「フレイザーズ センターポイント・トラスト」などを、市場の時価総額比率より高めの組入比率としました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

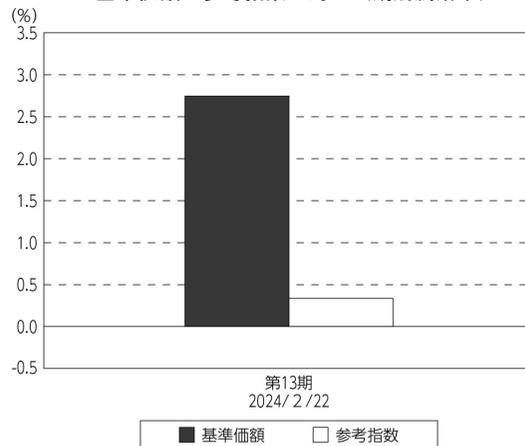
<参考指数との対比>

参考指数の0.3%の上昇に対し、基準価額の騰落率は2.7%の上昇となりました。

(主なプラス要因)

- ・個別銘柄比率においてフレーザーズ センターポイント・トラストやダイワハウス ロジスティクス・トラストなどを市場の時価総額比率よりも多めの組入比率としたこと

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 参考指数は、「S&PアジアパシフィックREIT指数（除くオーストラリア・ニュージーランド・日本）」の構成国から、S&Pの各国REIT指数と月初における各指数時価総額を用いて、当社が独自に合成し円換算したものです。

◎今後の運用方針

当ファンドでは、日本を除くアジア諸国・地域の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）されているREITを主要投資対象とします。REITへの投資にあたっては、各銘柄の利回り水準、市況動向、流動性等を勘案しながら、収益性・成長性等の調査や割安分析等により投資銘柄を選別し、高水準の配当収益の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行なうことを基本とします。

(運用戦略)

米中対立や中東情勢、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻といった地政学的リスク、米金融政策の動向などへの懸念はありますが、香港、シンガポール共にアジアの経済拠点としての優位性を確立しており、不動産市況は底堅く推移することが期待されます。当面は、配当成長が見込まれる銘柄に着目しつつ、保有不動産の賃料水準や立地、新規の物件取得状況などを考慮し、銘柄選択を行なう予定です。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願いいたします。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2023年2月23日～2024年2月22日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (投 資 信 託 証 券)	円 7 (7)	% 0.016 (0.016)	(a) 売買委託手数料=期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (投 資 信 託 証 券)	6 (6)	0.014 (0.014)	(b) 有価証券取引税=期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	32 (32) (1)	0.078 (0.077) (0.002)	(c) その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	45	0.108	
期中の平均基準価額は、41,181円です。			

*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2023年2月23日～2024年2月22日)

投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外	アメリカ		千米ドル		千米ドル
	KEPPEL PACIFIC OAK US REIT	—	—	—	—
		(—)	(△ 0.7125)		
	ARA US HOSPITALITY TRUST	—	—	—	—
		(—)	(△ 3)		
	DIGITAL CORE REIT MANAGEMENT	—	—	—	—
		(—)	(△ 1)		
	小計	(—)	(△ 5)		
	香港		千香港ドル		千香港ドル
	LINK REIT	4,900	188	—	—
		(12,671)	(654)		
	LINK REIT RTS	—	—	—	—
		(12,671)	(560)	(12,671)	(94)
	小計	4,900	188	—	—
		(25,342)	(1,214)	(12,671)	(94)
国	シンガポール		千シンガポールドル		千シンガポールドル
	CAPITALAND INTEGRATED COMMERCIAL TRUST	—	—	42,300	82
		(—)	(△0.73386)		
	CAPITALAND ASCENDAS REIT	—	—	—	—
		(—)	(△ 2)		
	MAPLETREE LOGISTICS TRUST	—	—	—	—
		(—)	(△ 1)		
	KEPPEL REIT	—	—	—	—
		(—)	(△0.19449)		
	FRASERS CENTREPOINT TRUST	—	—	37,800	85
	CDL HOSPITALITY TRUSTS	—	—	—	—
		(—)	(△ 0.2805)		
	CAPITALAND CHINA TRUST	—	—	—	—
		(—)	(△0.00368)		
PARKWAY LIFE REAL ESTATE	—	—	—	—	
	(—)	(△ 0.6066)			
MAPLETREE INDUSTRIAL TRUST	—	—	—	—	
	(—)	(△ 0.1488)			
MAPLETREE PAN ASIA COMMERCIAL TRUST	—	—	62,700	96	
	(—)	(△ 1)			
FAR EAST HOSPITALITY TRUST	—	—	326,000	195	
CAPITALAND ASCOTT TRUST	130,500	132	49,400	48	
	(—)	(△ 2)			
CAPITALAND ASCOTT TRUST-RIGHTS	—	—	—	—	
	(4,771)	(4)	(4,771)	(—)	

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外国	シンガポール		口 千シンガポールドル		口 千シンガポールドル
	OUÉ REAL ESTATE INVESTMENT TRUST	— (—)	— (△0.18214)	—	—
	FRASERS HOSPITALITY TRUST	414,500 (—)	195 (△ 2)	207,000	94
	DAIWA HOUSE LOGISTICS TRUST	— (—)	— (△ 9)	74,800	48
	KEPPEL DC REIT	— (—)	— (△ 0.5661)	—	—
	FRASERS LOGISTICS & COMMERCIAL TRUST	— (—)	— (△0.66924)	—	—
	小計	545,000 (4,771)	327 (△ 18)	800,000 (4,771)	650 (—)

*金額は受け渡し代金。

*金額の単位未満は切り捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

* ()内は分割、合併、有償増資などによる増減分で、上段の数字には含まれておりません。

*銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

○利害関係人との取引状況等

(2023年2月23日～2024年2月22日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

(2024年2月22日現在)

○組入資産の明細

外国投資信託証券

銘柄	期首(前期末)		当 期 末			
	口 数	口 数	評 価 額		比 率	
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	口	口	千米ドル	千円	%	
KEPPEL PACIFIC OAK US REIT	75,000	75,000	9	1,400	0.5	
ARA US HOSPITALITY TRUST	221,900	221,900	59	9,019	3.1	
DIGITAL CORE REIT MANAGEMENT	38,000	38,000	21	3,289	1.1	
MANULIFE US REAL ESTATE INVESTMENT TRUST	58,392	58,392	3	492	0.2	
小 計	口 数 ・ 金 額	393,292	393,292	94	14,201	
	銘柄 数 < 比 率 >	4	4	—	<4.9%>	
(香港)			千香港ドル			
LINK REIT	63,358	80,929	3,095	59,589	20.7	
SUNLIGHT REAL ESTATE INVESTMENT	47,000	47,000	88	1,700	0.6	
小 計	口 数 ・ 金 額	110,358	127,929	3,183	61,289	
	銘柄 数 < 比 率 >	2	2	—	<21.2%>	
(シンガポール)			千シンガポールドル			
CAPITALAND INTEGRATED COMMERCIAL TRUST	186,015	143,715	280	31,412	10.9	
CAPITALAND ASCENDAS REIT	97,818	97,818	268	30,152	10.5	
MAPLETREE LOGISTICS TRUST	35,436	35,436	53	5,997	2.1	
KEPPEL REIT	36,699	36,699	32	3,619	1.3	
FRASERS CENTREPOINT TRUST	122,999	85,199	189	21,200	7.3	
CDL HOSPITALITY TRUSTS	27,500	27,500	26	2,990	1.0	
CAPITALAND CHINA TRUST	86	86	0.06665	7	0.0	
PARKWAY LIFE REAL ESTATE	18,000	18,000	67	7,525	2.6	
MAPLETREE INDUSTRIAL TRUST	93,006	93,006	217	24,394	8.5	
MAPLETREE PAN ASIA COMMERCIAL TRUST	144,034	81,334	113	12,672	4.4	
FAR EAST HOSPITALITY TRUST	362,400	36,400	22	2,570	0.9	
CAPITALAND ASCOTT TRUST	133,540	214,640	197	22,134	7.7	
OUE REAL ESTATE INVESTMENT TRUST	202,387	202,387	53	6,011	2.1	
FRASERS HOSPITALITY TRUST	—	207,500	95	10,698	3.7	
DAIWA HOUSE LOGISTICS TRUST	180,400	105,600	68	7,634	2.6	
KEPPEL DC REIT	31,538	31,538	54	6,115	2.1	
FRASERS LOGISTICS & COMMERCIAL TRUST	64,351	64,351	68	7,718	2.7	
小 計	口 数 ・ 金 額	1,736,209	1,481,209	1,809	202,857	
	銘柄 数 < 比 率 >	16	17	—	<70.3%>	
合 計	口 数 ・ 金 額	2,239,859	2,002,430	—	278,348	
	銘柄 数 < 比 率 >	22	23	—	<96.5%>	

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

* 金額の単位未満は切り捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

* 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

＜純資産総額の10%を超える不動産投資信託に関する組入投資信託証券の内容＞

リンク・リート (Link Real Estate Investment Trust) : 期末組入比率 20.7%

イ. 不動産投資信託の目的及び基本的性格

本ファンドの受益証券は香港証券取引所に上場しています。ビジョンとして世界を代表するREITとなること、周囲の人々の生活を改善することを掲げています。

ロ. 不動産投資信託の特徴

香港や中国本土、オーストラリア、シンガポール、英国の商業施設やオフィスビル等を所有、運営しています。

ハ. 1口当たり資産運用報酬額等

「リンク・リート」は、投資信託の運用報酬に相当する詳細な開示がございませんので、「1口当たり資産運用報酬等の額」は開示することができません。なお、「リンク・リート」の開示情報資料についてはホームページにおいて閲覧することが可能です。

ホームページアドレス <https://www.linkreit.com/>

キャピタランド インテグレートッド コマーシャル・トラスト (CapitaLand Integrated Commercial Trust) : 期末組入比率 10.9%

イ. 不動産投資信託の目的及び基本的性格

安定した配当と持続可能なトータル・リターンを投資家に提供することを目的としています。

ロ. 不動産投資信託の特徴

主にシンガポール国内に所在する、小売店舗用不動産やオフィスビル等の商業用不動産へ投資しています。

ハ. 1口当たり資産運用報酬額等

「キャピタランド インテグレートッド コマーシャル・トラスト」は、投資信託の運用報酬に相当する詳細な開示がございませんので、「1口当たり資産運用報酬等の額」は開示することができません。なお、「キャピタランド インテグレートッド コマーシャル・トラスト」の開示情報資料についてはホームページにおいて閲覧することが可能です。

ホームページアドレス <https://www.cict.com.sg/>

キャピタランド アセンダス・リート (CapitaLand Ascendas REIT) : 期末組入比率 10.5%

イ. 不動産投資信託の目的及び基本的性格

予測可能な配当を行なうとともに、長期的な資本の安定を達成することを目的としています。

ロ. 不動産投資信託の特徴

シンガポールやオーストラリア、英国、米国の物流施設やデータセンター等を所有しています。

ハ. 1口当たり資産運用報酬額等

「キャピタランド アセンダス・リート」は、投資信託の運用報酬に相当する詳細な開示がございませんので、「1口当たり資産運用報酬等の額」は開示することができません。なお、「キャピタランド アセンダス・リート」の開示情報資料についてはホームページにおいて閲覧することが可能です。

ホームページアドレス <https://www.capitaland-ascendasreit.com/>

(2024年2月22日現在)

○投資信託財産の構成

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資証券	千円 278,348	% 96.4
コール・ローン等、その他	10,454	3.6
投資信託財産総額	288,802	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*当期末における外貨建純資産(282,783千円)の投資信託財産総額(288,802千円)に対する比率は97.9%です。

*外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=150.55円、1香港ドル=19.25円、1シンガポールドル=112.09円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年2月22日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	288,802,926
コール・ローン等	6,184,024
投資証券(評価額)	278,348,977
未収入金	548,936
未収配当金	3,720,989
(B) 負債	300,000
未払解約金	300,000
(C) 純資産総額(A-B)	288,502,926
元本	68,308,622
次期繰越損益金	220,194,304
(D) 受益権総口数	68,308,622口
1万口当たり基準価額(C/D)	42,235円

(注) 期首元本額は80,786,129円、期中追加設定元本額は17,250,869円、期中一部解約元本額は29,728,376円、1口当たり純資産額は4,2235円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額・アジア・リートオープン(毎月決算型) 68,308,622円

○損益の状況 (2023年2月23日～2024年2月22日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	15,571,698
受取配当金	15,336,903
受取利息	239,961
支払利息	△ 5,166
(B) 有価証券売買損益	△ 5,306,475
売買益	38,590,569
売買損	△ 43,897,044
(C) 保管費用等	△ 264,458
(D) 当期損益金(A+B+C)	10,000,765
(E) 前期繰越損益金	251,294,432
(F) 追加信託差損益金	53,488,731
(G) 解約差損益金	△ 94,589,624
(H) 計(D+E+F+G)	220,194,304
次期繰越損益金(H)	220,194,304

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

*損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

該当事項はございません。